

発行所  
 陵水会名古屋支部  
 名古屋市中区栄  
 4丁目21番11号  
 (株)サンワ内  
 TEL 052-241-0151  
 FAX 052-261-5715  
 発行責任者 吉田宜正  
 印刷所 中笠総合印刷  
 ☎0569 (21) 2426(代)

# 前支部長岡田一氏陵水会理事長に 新支部長に吉田宜正氏が就任

## 陵水会本部 岡田理事長誕生

去る4月21日に開催された陵水会名古屋支部総会で役員改選が行われた。新支部長に吉田宜正氏(大8、(株)豊田自動織機製作所副社長)が選出された。今回の役員改選で、副支部長が1名から2名に、副幹事長が1名から3名になった。これで21世紀の支部活動はさらに活性化が図られることが期待される。新役員は別表のとおりである。

また、去る6月3日に開催された陵水会評議員会において陵水会本部役員の選出が行われた。評

議員会において理事に再選された岡田一氏は引き続き開催された新メンバーによる理事会で理事長に推挙された。岡田氏が前支部長時代に發揮された手腕が評価されたものであろう。支部としても喜ばしいことである。現在(株)トーエネック会長として多忙な毎日であるが、母校のためにさらに活躍されるよう支部としても応援したい。

### 支部長あいさつ

大八 吉田宜正



新支部長  
吉田宜正氏

名古屋支部長に選任されました吉田でございます。前支部長の岡田一先輩からバトンを受けつぎ、吉田・榊原両副支部長を始め、役員の方々の協力のおかげで、名古屋支部を運営してまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

前支部長のリーダーシップにより、名古屋支部は活性化してまいりました。私どもはこの火を消さないよう、少しでも大きな炎にしたいと思っております。過去の思い出の場、仕事についての情報交換の場、酒を飲んで人生を語る場、スポーツ(ゴルフ)を通じた交流の場、などの「場づくり」が私どもの役割ではないかと思っております。

五十歳を過ぎないと陵水会に関心を持っていないことではなく、若い方々が積極的に参加できる名古屋支部にしていきたいと考えています。私どもは、青春時代の四年間を彦根で過ごした仲間ですが、卒業と同時に全国へ散り、互いにその存在すら曖昧になってしまっています。遠く離れ

- 4 論壇 住民自治について考える
- 6 7 集い・サークル活動
- 8 シンガポール日記

た同期の友人とは会う機会が少なくありませんが、その代り、それぞれの地域の支部の活動に参加し、新しい友人・先輩・後輩と交流していただきたい。名古屋近辺にお住まいの方は、まず手始めに飲み会に来て下さい(毎月第三土曜の夜)。会社のオーナー経営者、サラリーマン、税理士、世界を飛び回っているインターナショナルな社長、工学博士と多士済済で驚かれると思えます。

毎年四月に開催される支部総会も、年ごとに盛大になっています。幹事役を卒業年次を毎年一年ずつ繰り下げてお願いするというアイデアで盛り上がりが出てきたと思います。

まず、どの会でも結構ですからご参加いただきたい。肩肘はらずに長くお付合できる支部にしたいと思います。

支部発展のためのご支援をお願いするとともに、皆さまのご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。



### 支部長退任にあたって

前支部長 岡田 一

このたび、二期四年にわたって努めて参りました名古屋支部長を退任することになりました。この間支部会員の皆様から賜りましたご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

顧みますと四年前、支部長就任に当たり、「陵水会名古屋支部活動の活性化」を主目標に掲げ、とくに若手の会員の知恵と行動力を集結しようと努めて参りました。段々とその方向に進んで来ているように思いますが、まだまだ十分満足できる所まで来てはおりません。

例えば、毎年の支部総会の出席状況は、各年次幹事のご尽力により、逐年増加しており、これに伴い陵水会費（本部会費も含む）の徴収状況も他支部に比べ格段に良くなっています。しかしながら、若手会員の総会出席状況、会費納入状況は、今一つ芳しくありません。

また春秋二回の支部ゴルフ大会も十組の参加者を得るなど盛況裡に開催されていますし、さらに、毎月第三土曜日夜の「陵水亭」もほぼ予定通り開かれています。若手会員の参加者が少ないことが気掛かりです。

どうか吉田新支部長を始め支部役員を中心に、会員の皆様のご協力により益々名古屋支部の活性化が図られるようお願いいたします。

最後になりましたが、私こと、吉田前理事長の後を承けて陵水会理事長の大役をお引き受けることになりました。すでに陵水会年報等の情報によりご承知のとおり、最近国立大学の「独立行政法人化」の動きが急になっており、滋賀大学も大きな変革の波に洗われようとしております。陵水会としてもこうした時代の流れを見据えて、大学の運営に協力支援していくことが要請されています。名古屋支部会員の皆様におかれましても、支部活動は勿論、本部の活動に對しても、従来にもましてご協力、ご支援の程、よろしく申し上げます、ご挨拶といたします。

（\*新理事長就任のあいさつや抱負は本部「陵水会年報」に掲載されます。ご期待ください。）



岡田前支部長

### 平成12年支部総会

平成12年4月21日（金）に、恒例の陵水会名古屋支部総会が盛大に開催された。

場所は名鉄グランドホテル。

今年の担当は大学13回卒。この日のために、昨年来、同窓会を2回、準備委員会を11回も重ねてきて、いよいよ本番。当日も午後2時すぎには開場準備に集まりはじめて、計22名の同窓生が気合を入れて開会に臨んだ。

今回は初めから、適宜な予算でどのくらいの内容を盛りこめるかを課題としたが、岡田支部長にも準備会合に出席いただいて他支部状況を教示いただいたり具体的に援助をいただいたりして、いやが上にも成功あるのみムード。

その唯一最大のモノサシは出席人員だが、集計時点で約一八〇名だったが、当日あいにくの雨天のため少し減って一六四名。でも当面目標の一五〇名を上まわっていい気分が開会した。

#### 〈総会の部〉

6時ちょうどに開会。岡田支部長挨拶につづいて、8名のご来賓の紹介。うち代表して成瀬経済学部部長様



新役員の自己紹介

よりご挨拶を頂いてから、議事として役員改選および会計報告をそれぞれ吉田幹事長と倉坪会計幹事により進行。

役員改選はたまたま6月に予定の陵水会本部役員改選に連動して大巾に行われ、若返りをもふくめた新役員が可決された後、代表して新支部長になられた吉田宜正氏（大学8回卒）から「皆様のご協力を得ながらやっていきたい」と挨拶があった。

（別掲）

会計報告も「二十数年来の最後の会計報告を…」との倉坪会計の原案どおりを可決。（別掲）

〈記念講演の部〉

この総会の目玉の一つ。ゴルフのTV解説でおなじみの大

#### 各支部総会出席状況

支部	出席者数
東京	120名
名古屋	159
兵庫	25
京都	70
大阪	112

出所：名古屋は12年度総会出席者名簿  
その他は平成11年版「陵水会年報」

#### 平成11年度陵水会名古屋支部収支報告書

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,021,354	平成11年度総会費用	2,104,513
平成11年度総会会費	1,385,000	「名古屋水」発行費	428,960
平成11年度支部会費	664,000	会議費	159,101
本部よりの補助金	201,000	交際費	57,834
雑収入	162,251	事務費	7,800
		雑費	3,360
		次年度繰越金	1,672,037
	4,433,605		4,433,605

支部会費：2,000円×332名 本部会費：3,000円×329名（代理集金）

#### 平成12年支部総会年次別出席者数

10	9	8	7	6	5	4	3	2	大1	短7	工1	東5	24	23	21	本20	年次人数
11	7	9	2	8	7	1	4	4	2	1	1	1	1	1	3	2	年次人数
27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	年次人数
		1	1		3	2		1	2	2	2	3	7	24	12	10	年次人数
44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	年次人数
		1	1	2		1	1		3	2		1	3	2	2	2	年次人数
計													48	47	46	45	年次人数
159													1	1			年次人数

出所：総会出席者名簿

#### 陵水会支部別年会費納入状況・支部補助額

支部名	11年度		12年度	
	人員	補助額	人員	補助額
東京	516	155,000	517	156,000
名古屋	670	201,000	587	177,000
京都	241	73,000	225	68,000
大阪	435	131,000	422	127,000
兵庫	229	69,000	231	70,000

出所：評議員会の資料より抜粋

西久光氏をお招きして、6時30分すぎから約一時間を「ゴルフあれこれ」と題して、主にタイガーウッズの魅力を中心に楽しく気さくでためになる話をお聞かせいただいた。（別掲）

こういう肩のこらない講演もいいものだとの評、うれし。

#### 〈懇親会の部〉

ガラリと雰囲気を変えて、東海テレビの新人アナ、朝山くみさんの明るくさわやかな進行でスタート。

陵水会本部よりお越しいただいた吉田芳和理事長のご祝辞のあと井澤慶一氏（本科21回）の乾杯音頭で開宴。

この、同窓生同志の歓談、先輩後輩の交歓こそがいちばんOB会らしいひととき。そして、伝統校らしく70代から20代まで中広い年齢層が一堂に会するのがいかにも陵水会らしいひととき。

今春卒業（大48回卒）の2名の紹介があり、一方で当日最年長者の水野稔氏（本科20回卒）の万歳三唱あり、合間に校歌・寮歌の大熱唱あり、あつという間に時間は過ぎて、9時をまわったところで閉会の言葉。

・・・実質1年間におよんだ大13回卒の「総会」は幕を閉じた。

閉場後、皆で現金合わせに一憂して、合致して一同拍手。記念写真を

#### 陵水会名古屋支部役員

支部長	吉田宜正	(大8)
副支部長	吉田正克	(大8)
〃	榊原寛	(大9)
幹事長	倉坪和久	(大13)
副幹事長	岩田政三	(大17)
〃	板谷憲治	(大20)
〃	今井昭三	(大22)
会計幹事	水野浩	(大12)
監事	大野真一	(大10)

(大13回卒 倉坪和久)

### 募 集

次号から全面的に紙面を刷新するつもりです。IT時代にふさわしい情報提供の方法等についてご意見をお寄せください。

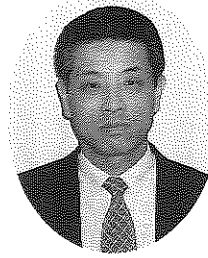
原稿、写真、広告など大歓迎です。いつでも受け付けていますので、事務局宛にお送りください。

(組織・広報担当)

論壇

住民自治について考える

前昭和区長 一柳 善郎 (大1)



21世紀が目前となった今日、私たちの生活は、日本経済の発展とともに、豊かで便利になりましたが、一方では、都市化の進展、急激な少子化、高齢化が進むなかで、人と人との結びつきが大変弱くなり、地域のコミュニティが希薄化してきています。

地方自治体の行政改革が叫ばれる今日、かつての行政改革といえは、住民の皆様は「行政の客体」、つまり私たち行政側が提供するサービスの対象であり、もっぱら「サービスの受益者・利用者」でした。

しかしながら、時代が進み、地方分権の考え方が広まるとともに、住民の皆様も意識もおおきく変革し、「自分たちこそ主役なんだ。」との思いが徐々に、芽生えてきました。そして今、住民の皆様が「行政の主体」として、「行政の主役」に踊り出よう

としています。

私は、市役所生活の最後の2年間を、昭和区役所で過ごしました。昭和区では、このような時代、社会の潮流のなかで、「人と人」とが気軽に声を掛け合える街、「困った時にお互いに助け合える街」、そして「楽しくいきいきとした街」への期待が、おおく広がってきています。

私は、こうした住民の皆様への期待を大切に、新世紀にふさわしいコミュニティをつくり、そして楽しく暮らせる地域社会を形成して見たいと思えました。そのためには、子供たちからおとしよりまで、世代を越えた積極的な交流はもちろん、商店街や工場の皆様、あるいは匠の皆様などによる幅広い交流、さらには地域でご活躍の皆様による交流を、促進しなければならぬと考えました。そして、それぞれの方がお持ちになっている素晴らしい感性や、豊富な知識、経験、技術を提供し合いながら、「自分たちの街を、自分たちで見つめ、そして考え、自分たちで創っていく。」という活動を始めることとしました。私たち行政側は、住民の皆様を「黒子」として後方支援することとしました。「住民の皆様を、最大限に生かそう。」というひとつの実験でした。このプロジェクトを、私たちは「コラボレーション(共同作業・共同研究・協調)」と、呼ぶこととしました。この活動の成果第一弾が、「THE SHOWA」マップの発行です。このマップは、高校生のグループを始め、老人クラブのメンバーや商店街の皆様が、自ら歩き、資料を集め、イラストを書いたり、原稿を執筆するなど、共同作業により製作されました。そして、自分たちの街の魅力をもう一度自分たちで見つめなおし、人と人のふれあいを深め、街の活性化につなげたい、という気持ちに溢れたものとなりました。スタッフの皆様は、いずれもボランティア精神に満ちた方々で、学校の休みの日やお店の暇な時を見つけては、ご参加いただきました。ぜひ一度、手にとっていただき、このマップの奥に秘められた住民の皆様への「心」を感じていただきたいと思えます。そして、昭和区の魅力を知っていただくとともに、昭和区にお住まい、あるいはお勤めの皆様には、「THE SHOWA」の活動に、ぜひともご参加

側は、住民の皆様を「黒子」として後方支援することとしました。「住民の皆様を、最大限に生かそう。」というひとつの実験でした。このプロジェクトを、私たちは「コラボレーション(共同作業・共同研究・協調)」と、呼ぶこととしました。この活動の成果第一弾が、「THE SHOWA」マップの発行です。このマップは、高校生のグループを始め、老人クラブのメンバーや商店街の皆様が、自ら歩き、資料を集め、イラストを書いたり、原稿を執筆するなど、共同作業により製作されました。そして、自分たちの街の魅力をもう一度自分たちで見つめなおし、人と人のふれあいを深め、街の活性化につなげたい、という気持ちに溢れたものとなりました。スタッフの皆様は、いずれもボランティア精神に満ちた方々で、学校の休みの日やお店の暇な時を見つけては、ご参加いただきました。ぜひ一度、手にとっていただき、このマップの奥に秘められた住民の皆様への「心」を感じていただきたいと思えます。そして、昭和区の魅力を知っていただくとともに、昭和区にお住まい、あるいはお勤めの皆様には、「THE SHOWA」の活動に、ぜひともご参加

たいと思えます。地元の皆様との交流を通じて、21世紀における「昭和区づくり」に携わっていただくひとつの機会になれば、と期待しています。

「コラボレーション」は、昭和区のキーワードです。私たちは、「コラボレーション」を、昭和区の街づくりの基本に据えてきました。住民の皆様は、世代間、異業種間、地域間交流を通じて、「自分たちの街を、自分たちの目で、もう一度見直して見よう。」そして「自分たちの街は、自分たちで創ろう。」と動きだしています。「THE SHOWA」という小さな運動でしたが、「行政側は、黒子となって、住民の皆様を、陰ながら支えていきます。」との提案は、一応ご理解いただけただけのものと考えています。

大都市では、市民オンブズマンの活動が目立っています。そして今、情報公開法の制定、あるいは情報公開条例の強化等により、行政の中心が明らかになるようになってきました。地方自治体の行政改革、そしてまた地方分権の成否は、住民の皆様が「行政への参画」、つまり「地域社会の担い手である住民の皆様が、如何にして行政に関わっていくのか。」という、

この一点に掛かっていると、過言ではないと思えます。

21世紀も目前に迫ってきました。21世紀は「超高齢社会」です。地域コミュニティが求められる時代です。「隣は何をする人ぞ」では済まない時代です。皆様方におかれましては、地域社会の活動に、積極的に飛び込んでいっていただきたい、と願っています。皆様方の温かいご支援をお願いいたします。

記念講演

総会終了後、テレビのゴルフ解説等でお馴染みの(株)ターゲットパートナー代表取締役の大西久光氏の講演会が持たれた。

氏は話題のタイガーウッズにちなんだ話として、ゴルフのすばらしさ、他のスポーツとの違いとしてゴルフを分析し、わかりやすく説明された。ゴルフは人生・ビジネスと共通し、自己責任が求められる。すべて人のせいに来るミスはないスポーツである。本当にまじめに取り組むなら自分を変える以外にない。ゴルフの世界で優勝する人はすべてにすぐれた人、人間力にすぐれた人である。云い換えればコースに勝ち、更にコースにうち勝った人に勝つことで

ある。人間力は心・技・体・頭・運の五つの要素に分けられる。

- 1 体
  - タイガーウッズの出現により、体力を必要とするスポーツに変化してきた。トレーニングが重要でアスリートタイプが求められるてきた。
  - 目とスポーツの大切さ。目の手術により更に強さを増したウッズを引き合いに説明された。
- 2 心
  - ① 自信(コンフィデンス)
    - プロは試合に勝つことにより自信がつく。
  - ② コンセントレーション
    - メジャー大会18回勝ったジャックニクラウスによれば、十分に準備が出来た時に集中出来たと聞いたことがある。
  - ③ コントロール(平常心)
    - プレッシャーを受けた時の平常心、いかに気持ちをコントロール出来るかにかかっている。パットの時、短い程プレッシャーを感じるがプラス思考が重要である。
- 3 技
  - 飛距離は肩の回転と腰の回転

の角度の差であり、ウッズは110と50でその差は60という。一般的には飛ぶ人ほど飛距離にこだわる。ジャンボ尾崎がその代表である。ウッズはコントロールすることを覚えた為距離にこだわらない。

- 4 頭
    - ゴルフは考えている時間が非常に多いスポーツで、インサイドワークの良し悪しで大きな差が出る。ゴルフはコースをいかに攻めるか、自然をどう克服するかのスポーツである。
  - 5 運
    - 心・技・体・頭がそろっていても勝てないことがある。運の流れ、マイナス思考の人は運の女神が離れていく気がする。ゴルフで優勝する人は、優勝争いに喜びを感じている人、感謝出来る人の様である。
- 今尚頑張っている青木功を例に成功の秘訣は大きな夢を持つこと。もつとまくなるとい向上心、そして感謝の気持ちを忘れないことである。プロで頂点を極める人はこれが備わっている。タイガーウッズがメジャー大会18回優勝のジャックニクラウスを越えられるかどうか興味を

持つて見守りたいと結ばれた。最後に付け加えて「ゴルフのコツ」として毎日5回でも継続した素振りが大切だとアドバイスされた。

名古屋弁

(大13 小木曾 靖)

◆愛知万博が羨んでいくような気がする。会員のK氏が以前毎日新聞に投稿し「海上の森を破壊しなくてもゴルフ場用地を利用したら」と訴えていたのを思い出す。会場や規模についてはそれなりに方向が固まりつつあるが、問題は採算が合わないというマイナス意見だ。「コミュニティ・システムは推進しない」「赤字は地元で負担せよ」など勝手な面はあるが、現実的になってきた。そもそも大阪万博と比較して云々するのは無理だが、イベントの仕掛け人不在は致命的だ。生産、流通、消費よりも、リサイクル、環境、自然を大事にしなくてはならない時代になったというのに。◆中部国際空港も前途多難だ。手本となるべき関西空港には問題点が多すぎる。「沈み出した」「赤字だ」なんて考えていたら前に進まない。とにかくゴーだ。やりながら考えるもよろし。ただし二の舞いはしないこと。

### 集い・サークル活動

#### 大学八回生卒四十周年同期会

大八回 吉田正克

六月四日(日)五回目の同期会を彦根で開催。卒二十周年に第一回同期会を開いてから、五年毎に開催してきた。今年度は大阪地区が開催を担当。代表幹事の橋内浩太郎君を中心に、大阪、京都、滋賀の幹事の面々が良くやってくれた。当日午後三時に六十六名が母校に集合。唯一、昔の面影を残す講堂をバックに記念撮影。午後四時から会場を琵琶湖畔の彦根簡保の宿に移し総会を開催した。まず現在までに亡くなった十六名の同期生を悼んで黙祷。続いて同期会準備での問題点、次回以降の開催ピッチなどを話し合った。(次回から三年に一回と決定)

陵水会の現状については私から簡単に報告。大学の独立法人化の問題は質問も出たりしてみんなの関心が高かった。

最後に高崎謙君(阪神シティーケーブル(株)社長)から「通信が変わる、テレビが変わる」と題して、今最もマスコミをにぎわしているIT

革命やデジタルTV放送について示唆に富んだ話があった。

この後宴会に入り、思い出やら還暦を過ぎた今のいきかたなど話は弾み、あつと言う間に九時の閉会になったが、その後も部屋に帰ってそれぞれ遅くまで話が尽きなかった。翌日は有志で湖北の十一面観音、醒が井の養鱒場などへ観光に出かけた。次回開催は名古屋地区の担当。

### お気に召すまま

大九回 柳原 寛

今年の年賀状には「そろそろ彦根へ集まろう」というような内容が多かった。関西地区に相談したら「ほんなら前倒ししましょうか」と意見が一致。卒後四十年同期会のリハールを実施することになった。

企画段階で代表世話人の案を慎重に検討し、以下の戦略を決定した。  
①案内を送付し、会費の振り込みで出席を確認。  
②宴会場へのアルコール類持ち込み大歓迎。  
③集合写真などは原則カット。

なるべく費用を抑えて遠くからの参加者を期待する作戦だった。五十名ほど集まったので成功だろう。地域の酒が持ち込まれ、さながら利き酒会だった。残金が多く、世話人は

次回の企画をはや思案している。

### 名古屋水屋古ゴルフコンペ

名古屋支部のゴルフ大会の歴史は古く、すでに二十年を経過し四一回開催されている。

年に二回、春と秋に名古屋カントリークラブで行われるが、参加者の幅が広がって若手OBが増えたためにもますますにぎやかな会になり、ヤングパワーがシニア組を圧倒するムードになりつつある。ドラゴンなどは若手の飛距離が圧倒的に優勢だ。

ハンディキャップの調整の問題もあって、前回から春はダブルペリア方式、秋はハンディキャップ方式での競技となった。

### ◆第四一回コンペ成績◆

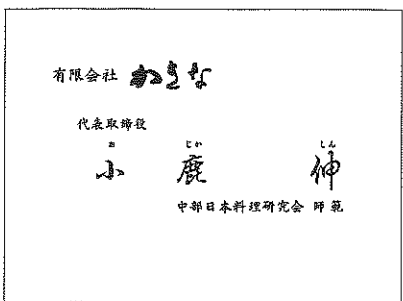
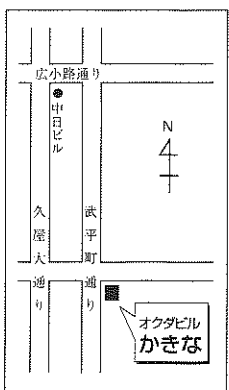
- 優勝 酒井盛雄(大十三)
  - 二位 杉浦 弘(本二)
  - 三位 山本侍由(大三)
  - B G 酒井盛雄(大十三)
- 次回は十月。初参加大歓迎です。詳細は幹事まで。(酒井盛雄)

### 〈第42回コンペの案内〉

日時：10月28日(土)  
場所：東名古屋CC  
会費：30,000円(予定)  
幹事：酒井盛雄  
TEL 052-932-3857  
柳原 寛  
TEL 0569-21-3701

### 陵水亭

岡田前支部長が立ち上げた「陵水亭」は名古屋支部のメインイベントに定着しました。会員相互の情報交換や親睦を深めるために最高の場です。今や他支部にも名古屋に続きの動きがあり、俗っぽくいえばチェーン化が進んでいます。本家本元の陵水亭へぜひお出掛けください。  
日時：毎月第三土曜日午後六時  
場所：四季料理かきな  
☎24210331



### 陵水俳壇

大六 石橋政雄

六道湖の春潮ほのと香りけり  
四阿の四方の滴る雪解かな  
相乗りのエンジンふかす寒詣  
着ぶくれのまま坐りこむ朝参り  
菊の香の入るる槽の石落し

短二 斉藤武司

廃寺へつづく細道竹の秋  
寒行を終へたる僧の白緒下駄  
寒折や迂曲りゆく城下町  
子鳩きて小首かしげる木守柿  
嫁入りの唄に開田の走り蕎麦

大五 柴 宗平

花守とおぼしき老の塵拾ひ  
風干しの蝶ゆるがぬ余寒かな  
飾取ることなく灯る寡婦の家  
新そばの職あざやかな信濃かな  
窓開けて木扉の香をたしかむる

大六 伊與正道

鈴屋に枝を広げし若桜  
水郷の朧に明けて家鴨なく  
流木を薪に海女小屋寒に入る  
糶前の小河豚鳴きをり泡まみれ  
神の柿干すに蜂来て舐めにけり

### 悼名倉昭弘君

大六 伊與正道

平成十一年十一月心筋梗塞にて逝去。享年六十三歳。

人間六十半ば過ぎると、両親はもとより親戚先輩と、親しかった人達が身の回りから消えて行くことになるのは、自然の摂理で避けられないこととはいえないものである。ましてやともに青春時代を過ごした同期の友の死は特に寂しくせつないものがある。

酒、煙草、麻雀、ゴルフをこよなく愛した男と聞くと相当な無頼派を想起するが、名倉昭弘は飲んで乱れず、携帯用吸殻入れを常に持参、勝負事に冷静、ダンディーな本場の意味での紳士であった。

昭和三十三年卒業と同時に北日本紡績(現在日本ハイスピナー)に入社以来平成八年常務取締役を最後に退職するまで、一貫として紡績業界に身を置き戦後の紡績の激しい変動期を通り抜けてきた。退職後は尾西市第五区長として地域社会に奉仕するとともに、二人のお子さんを嫁がせ良き祖父となり、夫婦でカナダ在住の次女を訪ねる海外旅行と穏やかな日々を送っていた。

公私ともにきちっと整理して旅立っていったのは見事といわねばならない。ただ残念なのは、平成八年最愛の妻久子さんをなくし独居の生活が酒量を増やしたのかも知れないことである。名古屋水屋古ゴルフ会に

は九十%以上出席の常連で、高商二十一年の荒島、杉浦先輩達の元気な姿を見るにつけあと十年くらいは一緒にプレーしようと話していたものがあったが・・・。

葬儀には大学、会社関係、地域から多数の参列があり、誰からも愛され惜しまれた男の生きざまを物語っているようであった。晩年始めた俳句はこれからというところであったが、句友の句を捧げ筆をおく。

合掌

君が亡き忘年会に聞く寮歌  
君亡しと夜は冴も涙きにけり

石橋政雄  
斎藤武司  
黄落の黄泉路やクラブ振りつぎて  
伊與正道

### 芸術グループ

先日ある女性の大作を観る機会があった。出展されていた三点は、いずれも鈍い茶系を基調色にした抽象画である。

「失礼ですが土管の色ですね」  
「あら、うれしい」

なんのことが最初は分からなかったが、彼女の説明を聞いて納得できた。彼女の出身は常滑市であり、多感な青春時代をモチーフにして大作「帰郷」に表現したのであった。

「リングは丸いもの」と決め込んでいたし、木はいつでも緑で表現していたが、最近やっと創造的な表現が分かるようになってきた。自分なりに人生を精神的に豊かにしようと思い、展覧会に足繁く通って刺激を吸収している結果であろうか。

◆最近の会員の出展状況◆  
【油絵部門】  
春陽展(県美術館)  
大9 大橋泰夫

シーツ3(一〇〇号の大作)  
創陽展(半田市福祉文化会館)  
大9 柳原 寛

バルボア公園  
山荘の朝  
洋画同好会展(ギャラリーチカシン)  
大1 中山 修

とこなめ風景  
公園と共生  
三の丸三丁目  
【陶芸部門】  
陶芸仲間会展(名古屋市民ギャラリー)

大花瓶ほか  
大9 清水吉男

油絵や陶芸といっても、ジャンルは広く表現技法などは各人各様である。飲み会などのように一堂に会してというわけにはいかない。作品の発表・展示を予定される会員はぜひ支部事務局までご連絡を。

シンガポール日記

○月○日：夜のフライトで到着したせいか、乗客は少なく、入国手続きに時間はかからなかった。

チャーター機が空港へ出迎えてくれるとは思っていたが、運転手つきには恐縮した。荷物に手をかけようとすると、「彼がやりますから」と目で制止する。社長の風格だ。ホテルに到着すると、小銭をポケットに入れてくれた。すごい気配り。

和風居酒屋に落ち着いたのは九時過ぎ。チャーター機と小生達（家内同伴）は冷酒で乾杯。チャーター機の助言に対して礼を述べ、やっと今回の目的の一つが達成された。\*ベーン啓太郎（アメリカ生まれのアメリカ育ちの甥）がアメリカの大学か日本の大学かで悩んでいたとき、「そりゃ日本ですよ」と貴重な助言をしてくれたのがチャーター機である。

○月○日：ジュロン・バード・パークで、鳥研究家チャーター機夫人の解説でバードウォッチング。道中のタクシーの中では、シンガポールの政治、社会、文化について、日本と比較しながら説明してくれた。

アメリカ、オーストラリア、シンガポールと海外生活が長い夫人は、

いつも胸を張り格調が高い。

○月○日：オクノ夫妻と会食。シンガポール滞在が長く、陵水会の情報が最大の土産となった。二次会は彼の経営する『寿司嵯峨野』、富山産の蛸イカに舌鼓を打ちながら、アメリカ産のウニをセールスする。

チャーター機夫妻も駆けつけ、さながら『陵水会シンガポール支部』設立総会。

「国際化の時代、支部があっても不思議じゃない」

「K大など各国に支部があって現地で活躍するOBが交歓してよ」  
「とりあえずシンガポールで旗揚げしたら」  
これで第二の訪星目的達成。

○月○日：第三の目的のために行動。（詳細は省略。全面的にサポートしてくれたチャーター機に感謝）

【注記】

チャーター機：室殿智秀さん（大一一）  
長女はアメリカ、次女はオーストラリアに滞在。

オクノ：奥野六友さん（大一九）  
夫人はカルチャーセンター講師、長男はニューヨークでミュージシャン、次男は横浜でゴルファー。

\*詳細は名刺で紹介しますので現地でぜひお会いください。（榊原）



**SUSHI SAGANO**  
200 Victoria Street, #02-46  
Bugis Junction (PARCO) Singapore 188021  
Tel: 337 6766 Fax: 334 1952  
**SAGANO ORCHARD**  
391 Orchard Road, #05-29  
Podium Bldg, Ngee Ann City Singapore 238872  
Tel: 835 2101 Fax: 835 2102



Chishu (Charlie) Murodono  
Managing Director 室殿智秀

**DISP**  
DENSO INTERNATIONAL SINGAPORE PTE. LTD.  
51 Science Park Road, #01-19 The Aries, Singapore 117596  
Tel: (65) 776 8268 DID: (65) 771 2420 Fax: (65) 776 8698  
E-mail: chishu\_murodono@disp.ndoa@notes.denso.co.jp

【編集後記】

◆新しい世紀まで半年を切った。いよいよカウントダウンが始まる。政治、経済、社会面いずれも課題が多い。なんとか弾みをつける年にしたと願っている人の気持ちがかかる◆岡田前支部長が陵水会理事長に就任したビッグニュースを速報するために発行を急いだ。大学も大変だ。倒産することもありえよう。岡田氏の抱負は心強いが、会員の意識が高まらないと大丈夫とはいかない◆森内閣のメンバーとは違います。名古屋支部も新メンバーになりました。吉田新支部長以下頑張ります。ご協力ください。



**Shin Tai HO & Co (Pte) Ltd**  
新大和(私人)有限公司

**M. Okuno**  
General Manager  
Business Development Division  
H/P: 9670 0354  
e-mail: okunom@singnet.com.sg

222 Pandan Loop Singapore 128410  
Tel: 778 1632 Fax: 774 1401 / 775 3167  
Telex: RS 20575 YAMATO  
Email: shinhco@singnet.com.sg

